




輝翠

Pitch Deck



Kisui

Feb 2024



山梨ぶどう農家さんまた日本、世界の農家 向け農業用AIロボットの実証について



輝翠

輝翠TECH株式会社

Tamir



Kisui



J-Startup
TOHOKU

Problem

日本の果樹農家は悩んでいる！



Early Target



果樹農家の悩み

① 作付面積の拡張ができない

労働力の確保が難しくコストも高い

② 新型農機を導入するのはお金がかかる

農機1台で単機能なうえ、操作に特別なトレーニングや定期的なメンテナンスが必要

③ 就農は労働のキツさから若手労働力の確保が難しい

長時間労働、肉体的負担の大きさ、休暇の少なさから、農業は若者にとって好ましくない

Solution

輝翠TECHの製品 = 自走式農業ローバー「Adam」



輝翠TECH社製
Adam

各種アタッチメント



- 運搬
- 除草
- 農薬散布
- 肥料散布
- etc.

Grass Cutting (GC)



Pesticide Spray (PS)



AI搭載マルチタスクロボット = 作業者の追尾も自動走行も可能！

既存農機

750万円

+ 人件費

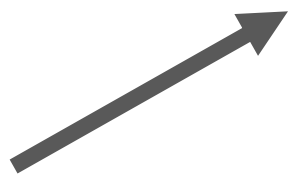
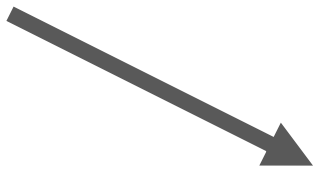
Grass Cutting



Pesticide Spray



Transport



Adam

100万円


+ 各種アタッチメント (有料)



農機購入費用を1/7以下に削減し完全自動化で人員も不要に！



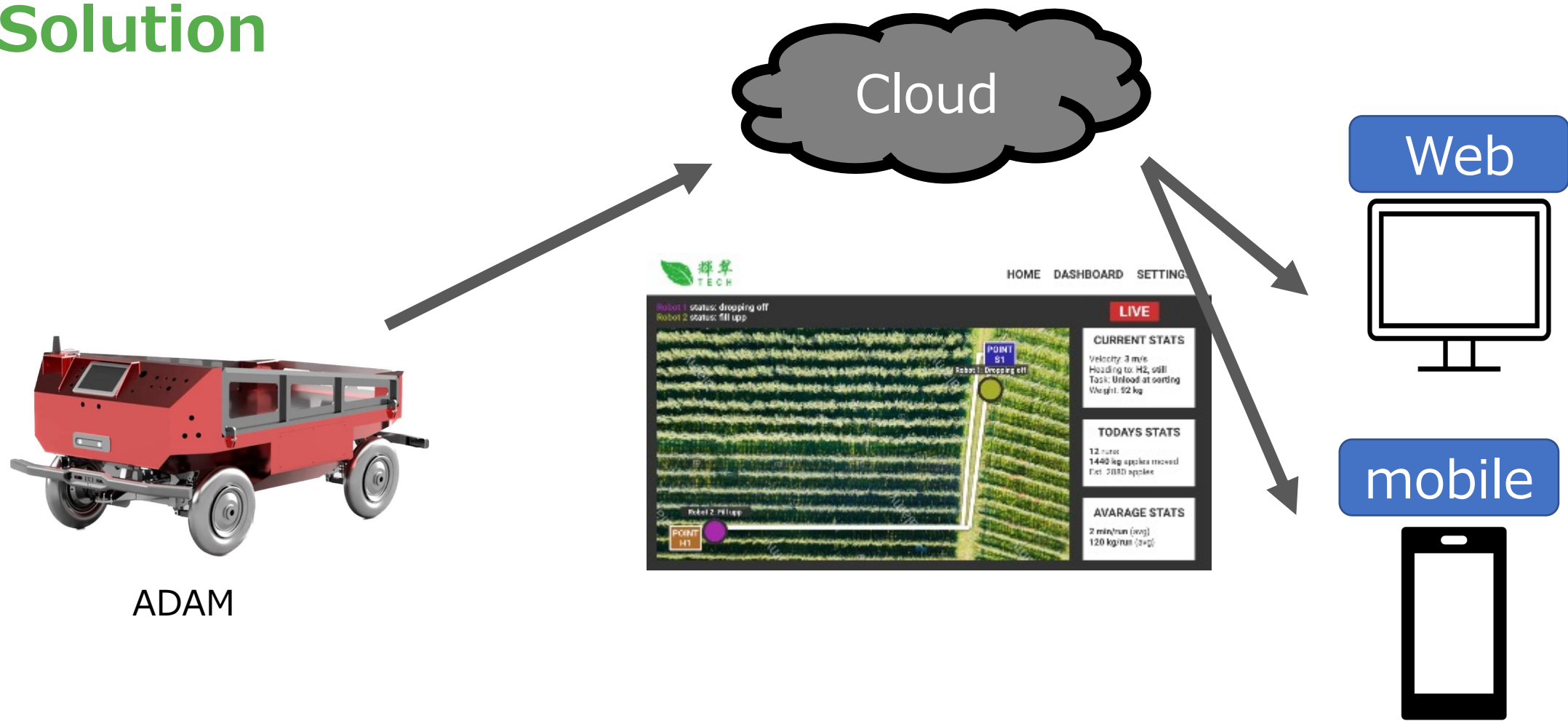


An aerial photograph of a large, lush green field, likely a farm or agricultural area. A road runs diagonally across the top left. In the bottom left, there are several buildings with grey roofs. The text is overlaid on the center of the image.

+25%
時間当たりの収穫増

農場規模の拡大が可能になる

Solution



ADAM

運搬、草刈り、農薬散布などの作業ができるだけでなく、同時に圃場のデータを収集し、適切な対策を講じることが可能に

農業DX

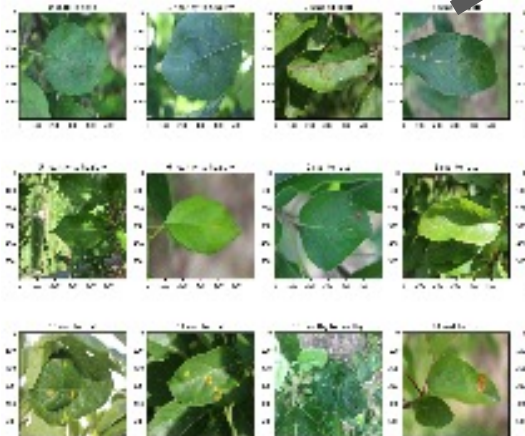


温度、湿度、pH、
窒素リン酸カリウム保有量

土壌分析



収穫量予測



病虫害被害検出



農家

農場状況をいつでも
どこでも把握したい

需要予測が可能
になる！



肥料メーカー
農薬メーカー

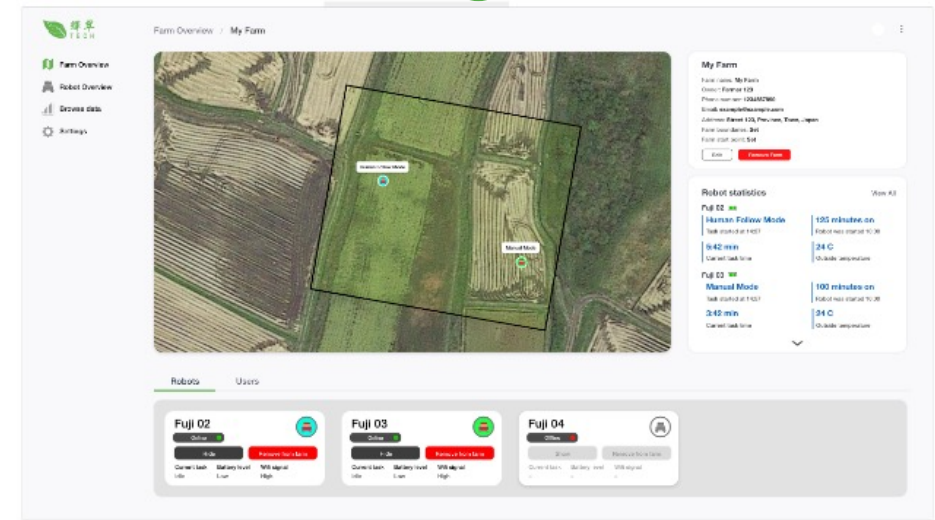


自治体

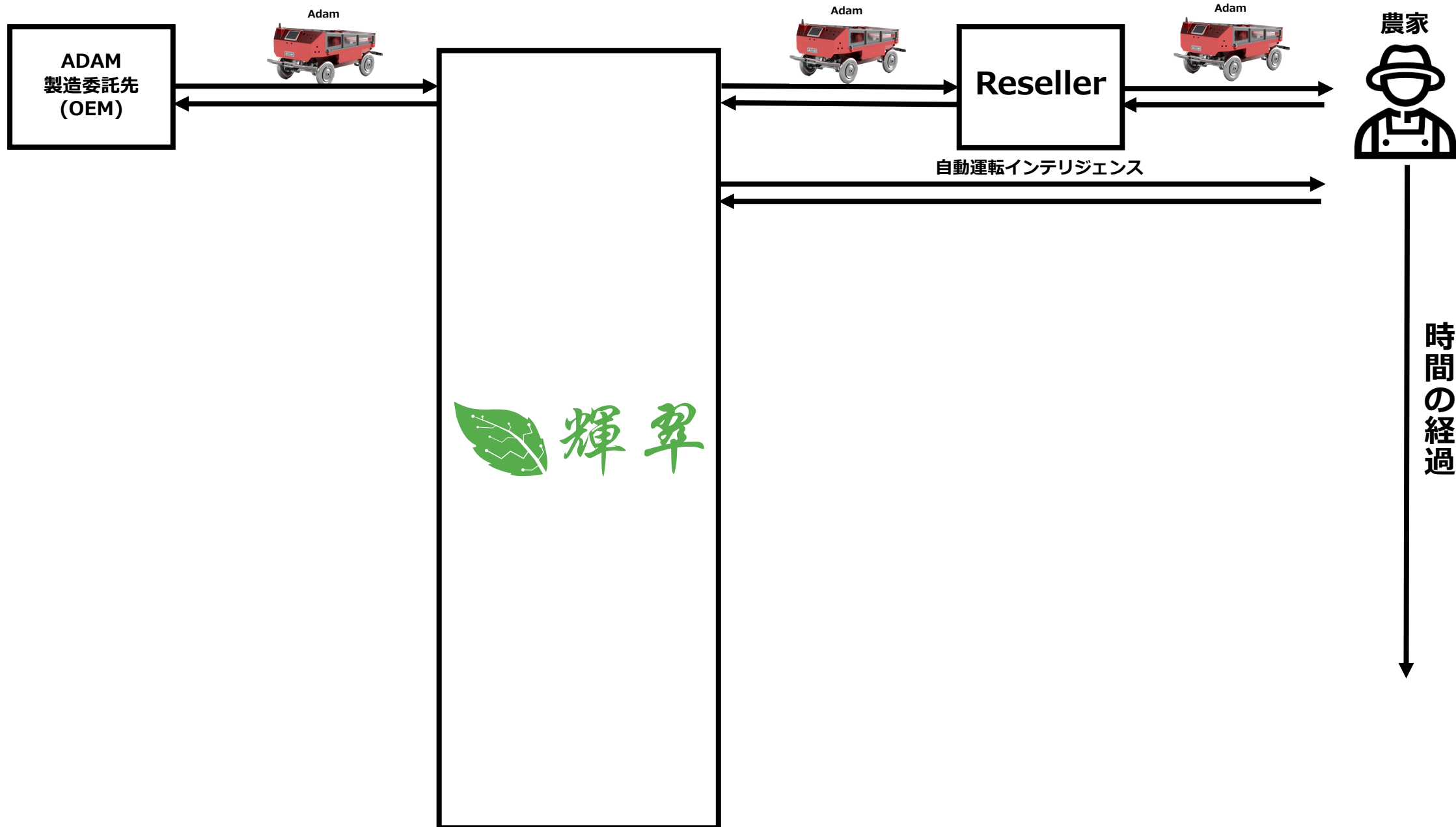
農業政策や地
域開発計画に
活用

データを農家、自治体、コンサルタントに提供

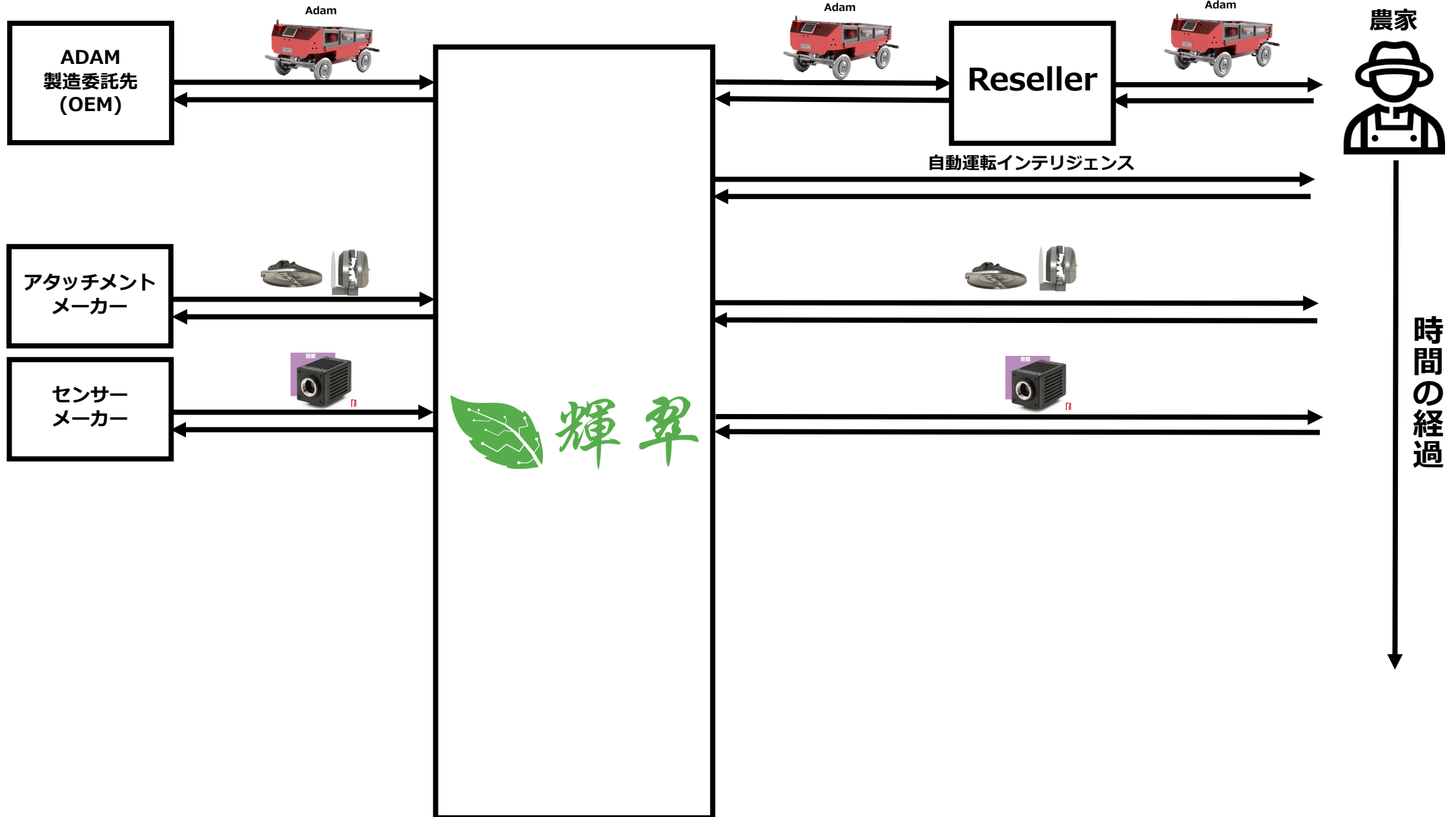
Farming Portal



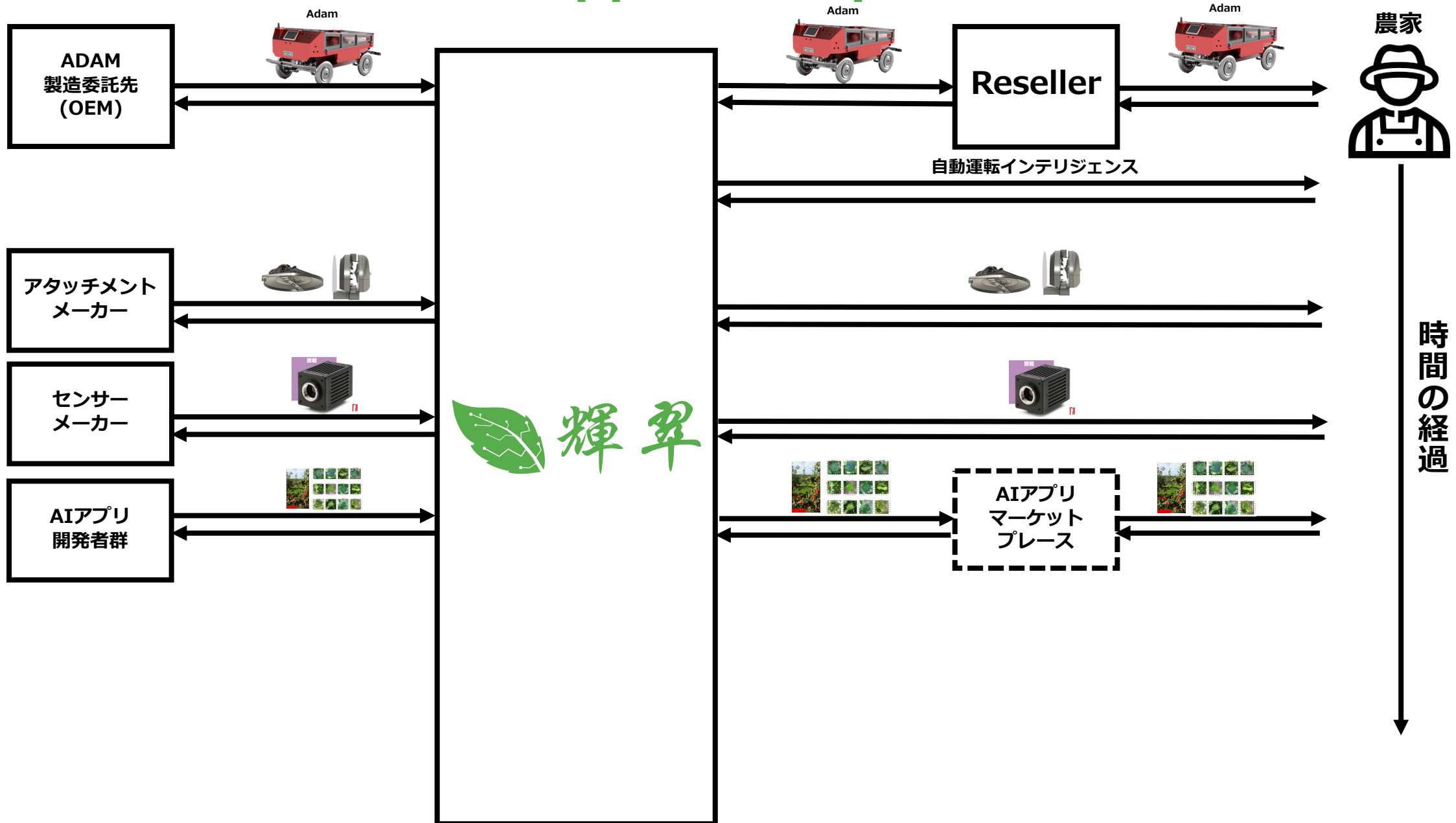
農業分野：第1段階（ロボット単体の販売＋自動運転利用料）



農業分野：第2段階（各種アタッチメントおよびセンサーの販売）







農業分野：第3段階（AI App Marketplace）



Market Size

Market Size

SAM	Japan - Orchards	Japan – All Agri	EU – All Agri
Robot + Attachments  	1,575+ 332億円/年	5,771億円+1390億円/年	76,000億円 + 16,000億円/年
Data + EC Site  	159億円/年	499億円/年	3400億円/年

Traction

1

試作から製品：MVPができ、ADAM V8の開発・生産



2

汎用性：7県のJAと協議、12県で4つの作物にて実証済み



JA ACCELERATOR 第5期

Supported by 0-1Booster

3

13件と契約・購入意思（家族系農家・農業法人を含む）

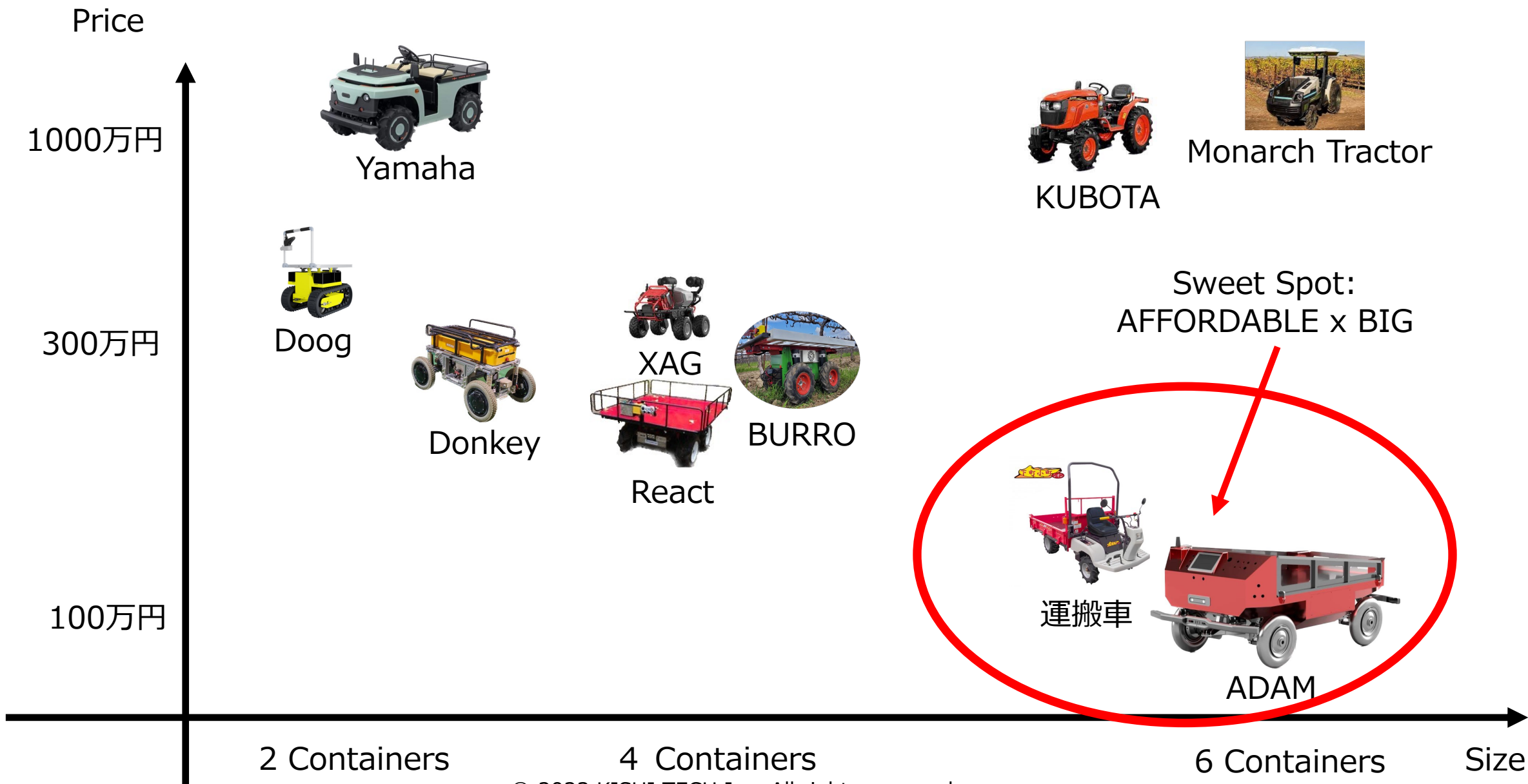
Gunma

Aomori

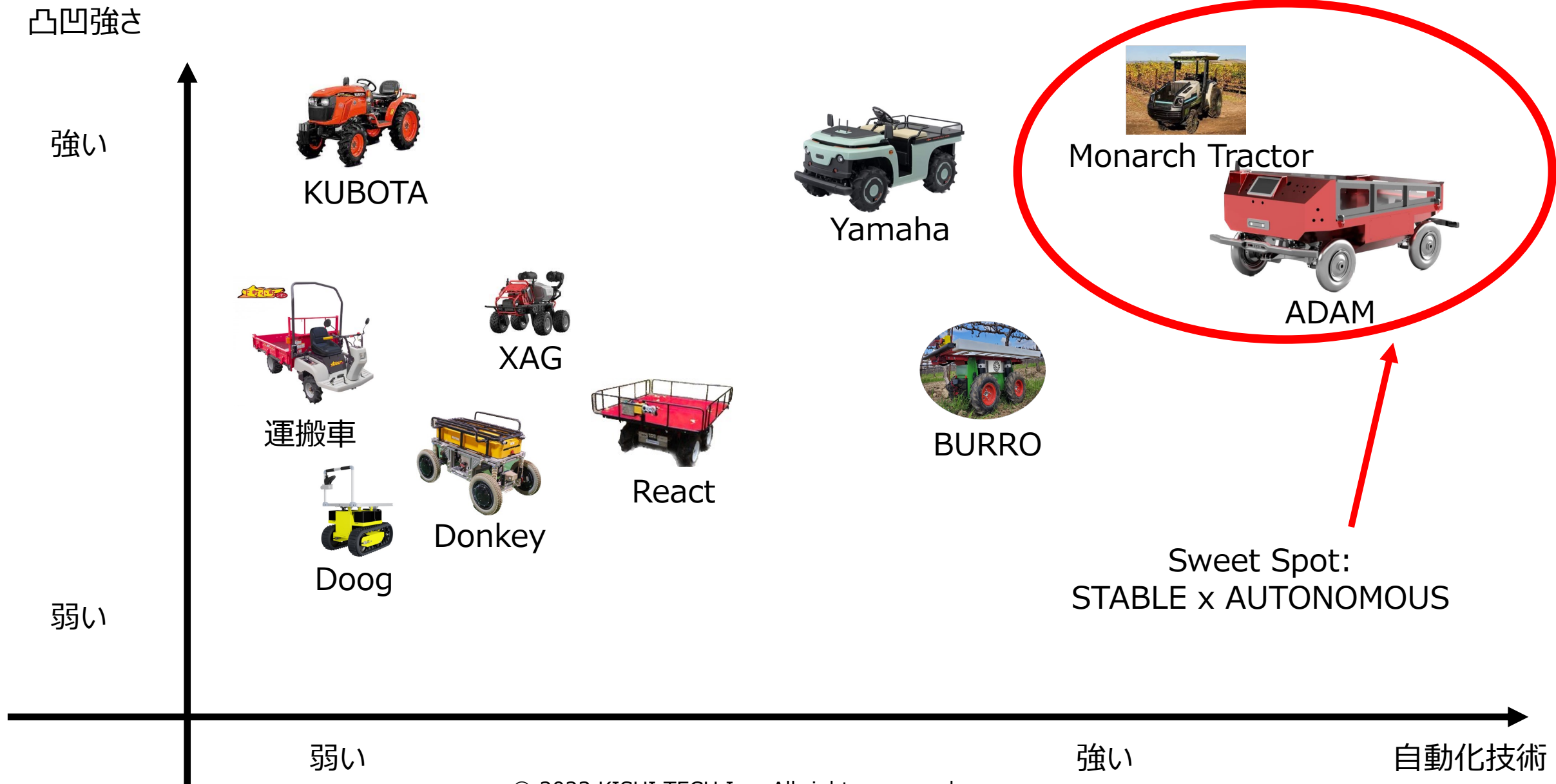
Ibaraki



小規模家族経営農家でも大量導入が可能なサイズと価格



小規模家族経営農家でも大量導入が可能なサイズと価格



KPIs

KPIs



KPI	23年4月	23年12月	24年4月	24年12月	25年4月	25年12月
パイプライン農家（短期レンタルを含む）	10	27	78	115	210	550
顧客総数	3	3	12	35	120	200
ロボット配備数	2	8	14	40	200	500
面積 (Ha)	29	150	500	1,000	2,000	3,000

Pilot Program

Limited Sales

Low Mass Production

2024は50台販まで売予定、2025年から爆発的成長

2027年末までに全世界で

1万台のAdamを販売

以降、毎年1万台のAdamを販売

Who we are

創業者



CEO
Dr. Tamir Blum
(Ph.D.)



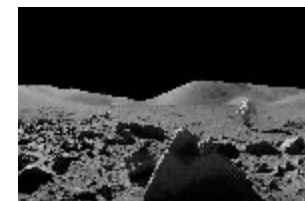
UCLA



SPACEX



Hakuto月面ロボット



月面探査



Crew Dragon Capsule



AI for Lunar Rover



月面探査機のAI&ロボティクス技術をもとに起業

Story



学生時代、地方を旅しながら農家と交流

農家の苦勞を聞き、地形の難しさを目の当たりにした

月面探査機やAI技術、ビッグデータ活用の可能性を実感した

チーム

CxO



Tamir Blum

CEO



Kazu Tochikane

COO



YuCheng Cheng

CPO



Jefri Alfonso

CMaO



Alexander Asteley

UIUX

Members



Masaki
Customer Success



Teru
Sales



Machiko
Biz Dev Cordinator



Scott
Software

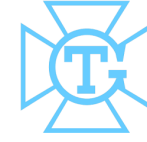


Evrard
Software



Heikki
Software PM

決意と情熱に満ちた国際色豊かなチーム



Our Vision

第一次産業において、より少ない人員でより多くの仕事をこなし、農村地域の活性化を可能にする。

Our Mission



オフロード・モビリティをリードすることによって、労働者の効率を高めて収入を増やし、肉体的負担を軽減し、人と地球にとってより良い持続可能な社会を作る。

